

声優朗読劇

VORLESSEN

脚本：中野順哉

フォアレーゼン

早太郎伝説

我が名は早太郎
またの名を「乾の使者」と申す

あらすじ

1300年ごろのこと。

遠江国に今川を名乗る武士団が移住してきた。

彼らは天竜川の治水に着手し、同時に木材などの物流網を手中におさめることに成功した。

おかげで川上の伊那谷一帯も好景気にわき、森林の大規模な伐採が始まった。

それらの木々の多くは、神社仏閣の建立にも使われるとのことで、自然を傷つけても、それが浄財となることで罪は消されると、人々は考えるようになっていた。

そんな頃、天竜川の河口付近では奇妙な風習が流行り始めていた。

月に一度、娘をもつ民家の屋根に白い矢が刺さっている。その矢が刺されている家は、娘を神に捧げなくてはならないとのことであった。当然民衆は皆、娘を隠すようになる。

そのうちに伊那谷でも娘が拐かされるようになっていった。

伊那谷のとある山に光前寺と言う天台宗の寺があった。

その寺に旅の僧が一人やってきた。その僧を見た寺の老師は驚いて上座へと誘う。

旅の僧はそこで、老師に語った話。それを聞いた老師は背筋に寒さを覚えるのであった...

※新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いいたします。ご来場前に必ず駒ヶ根市文化会館HPで開催有無をご確認ください。

※公演中止以外の払い戻しは致しませんので、ご了承の上お買い求めください。